



作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（<sup>ぼく</sup>ぼく）の<sup>す</sup>好きな<sup>えいが</sup>映画は  です。

この映画は

が

します。

この映画のおもしろい<sup>ところ</sup>所は、 が

するところです。

みんなにもぜひ<sup>み</sup>見て<sup>ほし</sup>欲しいです。





作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>す</sup>好きな<sup>おんがく</sup>音楽は  です。

この音楽に<sup>きょうみ</sup>興味を<sup>も</sup>持ったのは

だからです。

この<sup>きょく</sup>曲は、  のところ

が  なので、

みんなにも<sup>き</sup>聴いて<sup>ほ</sup>欲しいです。





□にことばを<sup>い</sup>入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>す</sup>好きなテレビ<sup>ばんぐみ</sup>番組は

です。この番組の<sup>しゅやく</sup>主役は

で、<sup>かんたん</sup>簡単

に<sup>い</sup>言うと、

<sup>はなし</sup>するお話です。

この<sup>はなし</sup>お話の<sup>なか</sup>中で一番おもしろいのは、

<sup>ばめん</sup>の場面です。ほかに<sup>す</sup>好きなところは

です。ぜひみんなも見てください。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

私（ぼく）が<sup>かんだう</sup>感動した本は  です。

この本の<sup>さくしゃ</sup>作者は  です。

一<sup>ばん</sup>番感動したのは、  が

したところです。一番おも

しろかったところは、  です。

つぎは、  の本を<sup>よ</sup>読んで

みたい<sup>おも</sup>と思っています。





□にことばを<sup>い</sup>入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

私(ぼく)が<sup>かんだう</sup>感動した<sup>りょうり</sup>料理は  です。

その料理は  で<sup>た</sup>食べました。材料は<sup>ざいりょう</sup>

が使われています。

おいしいものを食べると、

な<sup>きも</sup>気持ちになります。つぎは、

を<sup>おも</sup>食べてみたいと思っています。





作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを<sup>い</sup>入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（ぼく）がうれしいのは、 が

した<sup>とき</sup>時です。ほかには、

が

した時も、うれしいです。

うれしいことがたくさんあると、 な<sup>きも</sup>気持ち

になって、 したくなります。





## 作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを<sup>い</sup>入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（ぼく）が<sup>ふあん</sup>不安に<sup>おも</sup>思うことは、

のことです。ほかには、

<sup>しんぱい</sup>も心配です。

だから、できるだけ

して、

心配が<sup>な</sup>無いようにしています。





□にことばを<sup>い</sup>入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>す</sup>好きな<sup>ことば</sup>言葉は  です。

その言葉には  の<sup>い</sup>意味<sup>み</sup>があります。

その言葉を<sup>はな</sup>話すときはちょっと<sup>きぶん</sup>気分が<sup>よ</sup>良くなります。

それから、 の言葉も好きです。

この言葉は、まるで<sup>まほう</sup>魔法のようにしあわせな<sup>きもち</sup>気持ちになります。みんな

もこんな言葉を<sup>つか</sup>使うと良いな<sup>おも</sup>と思います。







□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>がっこう</sup>学校で<sup>す</sup>好きな<sup>かもく</sup>科目は、 と  です。

その<sup>りゆう</sup>理由は、 は  のところが

おもしろくて、 は  が<sup>たの</sup>楽しいか

らです。

<sup>はんたい</sup>反対にあまり好きではない科目は  です。それは

のところが

だからです。





作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

<sup>はる</sup>春が<sup>ちか</sup>近づいてきたと<sup>かん</sup>感じるのは、 <sup>とき</sup>時

です。それは、 が

だからです。春になると、 が

することもあります。

<sup>ふゆ</sup>冬が<sup>お</sup>終わって、春を感じると  <sup>きぶん</sup>な気分

なって、 したくなります。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

色にはいろいろな色があります。私の<sup>わたし</sup>好きな色は  色です。それは、その色が  だからです。

自然<sup>しぜん</sup>の中で好きな色は  です。その色は私の<sup>きも</sup>気持ちを  してくれます。

一週間<sup>しゅうかん</sup>を色<sup>たど</sup>で例えると  曜日<sup>ようび</sup>は  色です。それは  曜日が  だからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

はる<sup>はる</sup>春<sup>い</sup>と言って<sup>おも</sup>思い<sup>う</sup>浮かべるのは、や 、  
それから  です。ほかにも

は春<sup>かん</sup>を感じさせてくれます。

ふゆ<sup>ふゆ</sup>冬から春になるときは、<sup>きぶん</sup>気分が  になります。そう  
いう<sup>とき</sup>時は、 が  なので、  
 。





作文で気持ちを表現しよう（初級 plus）

名前 \_\_\_\_\_

□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

もう<sup>すこ</sup>少しで  <sup>ねんせい</sup>年生は<sup>お</sup>終わり、<sup>がくねん</sup>学年が<sup>か</sup>変わります。  年生

は  や  <sup>がんば</sup>を<sup>はり</sup>頑張り  
ました。

いろんなことを頑張ると  にな

って、<sup>まいにち</sup>毎日が<sup>たの</sup>楽しくなります。つまらないよりは、<sup>す</sup>楽しく<sup>ほう</sup>過ごした方が

<sup>よ</sup>良いので、  年生になっても

を頑張るつもりです。



□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

ヒント：風物詩とはその季節<sup>きせつ</sup>の感じ<sup>かん</sup>を表<sup>あらわ</sup>しているもののことです。

夏の<sup>なつ</sup>風物詩<sup>ふうぶつし</sup>で<sup>おも</sup>思いつくのは、です。

他に<sup>ほか</sup>も、 や  も

あります。一番<sup>たの</sup>楽しみなのは  です。

夏を<sup>いろ</sup>色で<sup>あらわ</sup>表すとすると  色が<sup>う</sup>思い浮かびます。

その色は  や  がイメージ

できるからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

1学期は  <sup>がんば</sup>を頑張りましたが、

はあまりできませんでした。

できなかった<sup>りゆう</sup>理由は  <sup>おも</sup>と思います。

これから<sup>なが</sup>長い<sup>なつやす</sup>夏休みが<sup>はじ</sup>始まります。たまには<sup>てっだ</sup>お手伝いをして

<sup>かぞく</sup>家族を<sup>おどろ</sup>驚かせても<sup>よ</sup>良いかもしれません。お手伝いをするなら、

で  の

お手伝いが良いかなと思います。

